

営農計画策定支援システム(新Z-BFM)

新Z-BFMとは！

農研機構とJA全農が共同で開発した、営農計画策定支援システム（Z-BFM：Zennoh-Builder of Farming Model）です。経営面積、労働力等の営農・経営条件を入力して、事前にデータベース化された作物ごとの経営指標（粗収益、生産費用や作業労働時間など）を使って、農業所得が最大となる営農計画案を作ることができます。

システム利用の流れ

お聞きした内容をシステムに入力します

生産者の方に経営内容の聞き取りを行います。

- ① 経営の内容 大まかに伺います
田や畑の面積、経営作物、雇用、農業機械・施設など
- ② 営農条件 経営をもう少し具体的に
従事者の構成、経営耕地の内容、転作率など

経営状況を分析します。

- ① 営農類型（経営指標）に基づくモデルの作成
≒ 最適営農計画案 最も所得が大きくなる経営を算出します
- ② 経営シミュレーション
経営指標の精度を高める。あなたの経営指標を反映させます
新規の作物、新しい技術の導入を検証

新Z-BFMを使います。

これからの経営の方向を一緒に協議しましょう。

モデルに沿った経営を試します。

- ① 営農モデルの実現性を検証
実証試験を行って、その結果を評価します。
- ② 営農モデルの再検討
生産結果、収支の検証（分析と検証を繰り返します）

新Z-BFMを使います。

展開

地域内外への普及を目指しましょう。

- ① 営農モデルの事業展開
- ② 地域内外への水平展開



最適営農計画案の提示

① 経営概況・営農条件の入力

入力項目：作付け希望作物、経営面積、労働人数、機械・設備の資本装備等、常時・臨時労働力の賃金・労働可能時間、借地の地代等

② 作付け希望作物の経営指標の作成・選択

経営指標のデータベース

- ・ 作型、品種
- ・ 単収、販売単価
- ・ 旬別労働時間
- ・ 粗収益
- ・ 生産費用 など

新技術、機械化、低コスト資材等を導入した新作物別生産体系の経営指標データの作成。

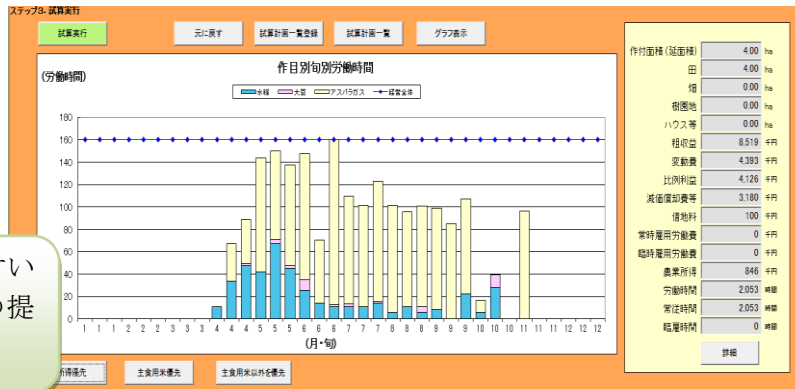
農業試験場、普及センター等からの既存の作物別経営指標データを反映可能！

③ 最適営農計画案の提示

- ・ 所得を最大にした試算が可能！
- ・ 作付面積を指定した試算が可能！



グラフ化による分かりやすい営農計画を、担い手への提案等に活用可能！



アピネス/アグリインフォからダウンロード！

本システムは、会員制総合営農情報サービス「アピネス/アグリインフォ」ログイン後トップページよりダウンロードできます！

アピネス/アグリインフォのホームページはこちらから！（入会が必要です）

URL : <http://www.agri.zennoh.or.jp/>

お問い合わせ先：JA全農耕種総合対策部統括課 アグリ情報室

Tel:03-6271-8278 e-mail:zz_zk_agriinfo@zennoh.or.jp

ヘルプデスク：株式会社全農ビジネスサポート 管理・販売システム部

管理販売システムグループ Z-BFM担当

Tel:03-3350-2026 e-mail:z-bfm-help@z-bs.co.jp